

「災害時すぐ助け合えるネットワークをつくりたい」  
福祉施設事業所にも広がるクリスマス・ギビング・アクション  
12月25日まで実施いたします

経済的理由や病気、災害などで社会的・精神的に孤立しているご家庭や、社会福祉施設へクリスマス・プレゼントをお渡しする社会貢献プロジェクト「クリスマス・ギビング・アクション」が12月1日からスタートしました。全国のパートナー(協力者)を通じて目標を超える約1100世帯へプレゼントが届けられ、福祉事業所や保育園といった、発災時支援が届きにくい施設とのつながりが各地で広がっています。

社会インフラとして高齢者や障がい者、子どもといった災害弱者をケアしている福祉事業所は、災害時公的支援がなかなか届かず、自力での復旧作業を余儀なくされることが予想されます。特に医療的ケアをはじめ、通常の支援が滞ると命に直結するような場合や、24時間で障がいのある方々の生活を支えている場合は、物資不足などの困難に陥っても自らSOSを発信できず、支援から孤立するケースが過去の災害支援現場で見受けられました。

このような課題を打破するため、福祉的支援に係る施設と事前につながり、助けを必要とする際にはすぐにキャッチアップできるネットワークの構築の一助として、クリスマス・ギビング・アクションが用いられています。

一つの事例として、今回静岡県清水市にある心身障がい社会福祉施設「社会福祉法人清水あすなろ福祉会 ともの家」の利用者80名の方々に、クリスマス・ギフトをお届けしました。今回パートナーとしてギフトをいっしょに届けてくださった伏見隆次さんは、自らも身体障がい者として車いす生活を送しながら、災害時にすぐ助け合えるネットワークをつくりたいとクリスマス・ギビングに参加してくださったボランティアの方です。

伏見さんは、昨年7月の大雨で広範囲の浸水被害が出た清水市在住で、自身の体験を振り返りながら「もしもの時にすぐSOSを発信し、互いに助け合えるつながりづくりの重要性を感じました。普段から互いを知らない壁を取り払っていき顔見知りになることで、自然と助け合えるきっかけをつくっていきたいと思います。」とコメントされています。



利用者の方にギフトが手渡される様子

クリスマス・ギビング・アクションは、そのほか今年7月の豪雨災害で被災した秋田県秋田市の保育園をはじめ、宮城県仙台市、愛知県名古屋市の生活困窮者支援団体などにも広がり、12月25日までギフトが届けられる予定です。クリスマス・ギビング・アクションでは、同日25日までクリスマス募金を受け付けております。このつながりのアクションを応援したい方は、ぜひ特設ページからのご寄付・ご寄贈による支援をよろしくお願ひします。

・特設ページ：<https://objapan.org/christmas-giving-campaign/>

・クリスマス募金：<https://objapan.org/donation/donation-ob/>

《プレスリリースお問合せ先》

国際 NGO オペレーション・ブlessing・ジャパン

〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 1-13-4 泉エクセルビル 3F

広報担当：平井恵 【電話】080-6042-1566 【E-mail】megumi.hirai@objapan.org